

有新有学



2年生 修学旅行に行ってきました!

今年の修学旅行は、4泊5日で広島・京都・大阪・奈良 東京へ行ってきました。私は、特に思い出に残っている2日目と3日目に行った関西について書きたいと思います。



2日目の行程は、広島平和記念公園を出発した後、新幹線で京都に向かいました。そこで金閣寺の見学をしました。写真でしか見たことのなかった建物で、今初めて本物の金閣寺を見て圧倒されました。想像の中では「金閣寺」と言っても写真などで見るよりはたいしたことがないだろうと正直思っていたのですが、私が想像していたよりもずっと金色でそのたたずまいに感動しました。普段の生活ではなかなか行くことのできない場所なので、今回修学旅行を通して実際に行くことができ、同時に日本の歴史や昔の文化を勉強できたことはとても良い体験でした。また、次に訪れた清水寺も素晴らしい建物で、本堂から見える京都の街並みの景色は、時間が夕方ということもありとても綺麗でした。

3日目は、班別の関西自主研修を行いました。私の班は大阪城と通天閣、伏見稲荷大社に行きました。通天閣では、ピリケンという幸運の神の像が何体もおかれています。同じ日本でも地域によって特色があることを実際に肌で感じました。また、人通りも多く、普段住み慣れている函館の街とは全く雰囲気や大抵の町はとも魅力的でした。他にもたくさん場所を訪れ、ここには書ききれないほど様々なことを実感できたことは本当に貴重な経験となりました。私は、この修学旅行で培った知識や経験を活かしこれからの人生で役立てて行きたいと思っています。

(2年 濱田)

私たちは修学旅行で広島、大阪、京都、奈良、東京へ行きました。その中で、私は2日目に行った広島について書きたいと思います。広島駅までの新幹線の車内では観光気分が浮かれています。ですが、原爆ドームを目の前で見た時に今までの雰囲気が一変しましたが、ドームの周りには散らばった瓦礫や窓ガラスがぼつかりとなくなった家、塗装が剥げ、丸見えになっている壁、屋根はなく鉄骨だけ残されたドームの部分、一瞬のうちに様々な情報が視界から入ってきて言葉では言い現わすことのできない感情になりました。また、次に訪れた平和記念資料館では、原爆に関する様々な展示品があり、当時の遺品や原子爆弾の模型などが展示されています。実際に原爆の被害を受けた人の模様が展示されており、衣服がぼろぼろになり、血を流し、泣いている親子の姿を見た時には、言葉に出来ない感情が込み上げてきて、正直見るのが辛かったです。今回の修学旅行を通して、私は疑問に思ったことがありました。それは、日本で起きたこれだけの悲劇を世界中が知っているのに、未だ戦争がなくならず、核兵器を手放さずとせず保持し続ける国があるという現実です。不思議で仕方がありません。今回の体験から私が思ったことは、私たち日本人は二度と戦争をしない唯一の被爆国として、日本の歴史を学び後世に伝えること、そして核兵器廃絶を世界中に呼びかけること、それが大切なことだと強く感じました。そして、私は『幸せ』とは良い家に住みおしやれをし、不自由なく食事ができることだと考えていましたが、本当の『幸せ』とは家族や友達が身近に居ること、ただそれだけで『幸せ』なんだと思うことができました。また、普段は面倒くさいと思う学校に通うことも勉強ができる環境も当たり前のことではなく、親をはじめ自分たちの今いる環境に感謝しなくてはならないのだと強く実感した修学旅行でした。

(2年 廣島)

私が修学旅行で印象に残っているのは初日に行った広島県の宮島です。宮島の場所や歴史については行くまで全く知りませんでした。どんなところなのかと想像を膨らませながら、修学旅行で行って見たところすごく感動しました。数百年も前に建てられた建物が今も綺麗に残されていることや瀬戸内海にたたずむ鳥居に風情を感じました。

今回の4泊5日の旅では、普段よりも友達と過ごす時間が長く、学校生活では話さないことやいつもより濃い話ができたととても良かったです。また、あまり話をしたことのないクラスメイトとも会話をする機会が多く、いろいろな人とコミュニケーションが取れたことも良かったです。クラスの雰囲気もとても楽しかったです。

私は、卒業後の進路は就職を考えています。今回の修学旅行を通して、様々な場所に行き、広い視野で物事を見たり考えたりすることを学ぶことができたので、これからの進路に活かしていきたいと思っています。(2年 川邊)

11月に行われた学校行事

- ◇ 11月15～18日 修学旅行
- ◇ 11月30～12月2日 第2学期期末試験

